

豊庄だより



第 676 号 2021 年 9 月 6 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

福岡市はコロナウィルスデルタ株の影響でしょうか、感染の拡大が止まりません。これまでは会話をする場合、マスクをしてソーシャルディスタンスに心がければ、30分までOKが、「デルタ株ではリスクあり」と言われ、また、屋外で人とすれ違っただけでも感染の危険性はあると言われるようになりました。このようにデルタ株の強い感染力は、人々を不安にさせています。これは卒園児のお父さんから聞いた話ですが、「ラッシュ時の地下鉄に乗るのが怖くて、自転車で会社に通勤しています。会社は博多駅付近で、かなりの距離があり大変ですが、感染のリスクには代えられません」と。しかし、雨の日はどうしようもなく、感染予防対策に十分心がけ、地下鉄通勤しているということでした。学校も夏休みが明け、登校姿が見られるようになりましたが、これまでの感染リスクの度合いが明らかに高くなり、心配です。

保育園でも感染予防に心がけています。限界がある中で、出来ることを工夫をしてやっていこうと思っています。行事のプランについて、感染予防をどうするかをその都度話し合っていて決めています。先日行った8月誕生会（8月27日）も、緊急事態宣言が出されるずっと前から話し合ってきました。大きな方針として、「一斉にはせずクラスごとに実施する。保護者の参加は（申し訳ないが）なし」としました。「クラスごと」については、初めは「各クラスの部屋で誕生会」としていましたが、「やはりホールでしたほうがよい」と考え、一クラスごと時間をずらして行うことにしました。「保護者の不参加」は、ステージで司会の保育士とのやりとりをする子どもたちの姿を見る機会を奪うことになり、とても残念なことです。がやむを得ませんでした。



8月誕生会

さて、誕生会の様子ですが、スタートはひまわり組。続いてゆり組、すみれ組、さくら組の順でした。もも組とばら組は誕生者がいないので、プログラムから外しました。私（園長）の話もひまわり組に代表して聞いてもらいました。今回は、ケイトウの花について話しました。「ケイトウ」を漢字で書けば、「鶏頭」。鶏の頭という意味です。花の形が鶏のトサカによく似ています。そこで、誕生会の司会の常岡先生に、「この花、鳴くのですが・・・」と話しかけました。すると、先生が「えーん、えーん」と泣き出し……。そこで、鶏の写真を取り出し、みんなに見せ、もう一度鳴いてもらいました。今度は、「コケッコー」でした。打ち合わせをほとんどせずに、ぶっつけ本番で臨んだための出来事でしたが、かえってそこが面白くなったのかなと思っています。クラスごとでのプログラムは、他のクラスの発表が聞けないというマイナスはありますが、短時間であること、少人数であることから、集中して取り組めるというプラスもあります。プラスの面を見出しながら、コロナ禍を乗り切らねばならないと思っています。今回の行事で、もう一つ書き留めておかなければならないことがあります。それは、ビデオ撮影です。「保護者不参加」というやり方を取ったため、誕生者の保護者の皆さんに誕生会の様子をビデオ撮影し、プレゼントすることにしていました。誕生会が始まると同時に、写真を撮りながらビデオ撮影を開始。順調でした。しかし、私（園長）の話を終え、ビデオカメラのところに戻った時、唖然としました。ビデオカメラが停止していたのです。何が起こったのか！一瞬、パニックになりました。原因はハードディスクの残量不足。どこまで撮影できていたかを確かめると、ひまわり組の誕生者の紹介の途中で切れていました。子どもたちに事情を話し、誕生者紹介から再度スタート。ハラハラドキドキの誕生会でした。